

コスト調査の概要について

1. 検討の経緯

- 前回（1月27日開催）の分科会において、
 - ・ 従前の方法では回答率が低く、多数の客対数が確保出来ない
 - ・ 病院の詳細なコスト構造を分析することは困難であるため、医療療養病棟を有する病院全体の収支だけでも確認したい等のご意見から、病院の「決算書」を収集してはどうかとのご議論を頂いた。

- しかしながら、「決算書」を収集するという方法について検討したところ、
 - ・ 医療機関の決算の対象時期は4月～3月が大半であり、それ以外の期間で決算を行う医療機関はごくわずかであるため、多数の客対数を確保出来ないこと
 - ・ 医療法人の決算は、介護施設等の関連施設全てを含んだものであり、病院に係る費用を按分できないこと等の問題から、分科会長、各委員と協議の上、以下の方法でコスト調査を実施することとする。

2. 調査の対象

- 回答率を高めるため、「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」で回答のあった医療療養病棟を有する病院を対象とする。
- また、3月11日に発生した東日本大震災の被災状況に鑑みて、北海道及び西日本地域に所在する病院に対して調査票を配布する（約1,000病院）。
- 調査対象時期は、「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」と合わせて、原則、平成22年6月時点とする。

3. 調査の内容

- 医療機関の事務負担を軽減し、回答率を高めるため、従来のコスト調査票を簡素化する。
- 調査票は決算書に近い内容とし、関連施設を除く病院全体の収支について調査を行うこととする。

(詳細は「慢－3－2」参照)

4. 粗いスケジュール

- 4 月中 調査票の発送
- 5 月中 調査票の回収、分析
- 6 月中 本分科会に速報結果を報告予定